

川崎市公共施設白書 (概要版)

【令和4（2022）年度】

令和6（2024）年9月
川崎市

川崎市公共施設白書について

・「川崎市公共施設白書（本編）」とは

公共施設の施設概要、利用状況・運営状況、コスト状況などを施設分類ごとに整理し、まとめたものです。また、その分析により、施設分類ごとの現状と課題を明らかにするものです。

・「川崎市公共施設白書（分析編）」とは

公共施設白書（本編）のデータをもとに、公共建築物の延床面積、利用状況に焦点を当て、過去4年度分のデータを対比し分析を行ったものです。

川崎市公共施設白書

- ・公共施設に関する施設概要、利用状況・運営状況やコスト状況などを施設分類ごとに整理し、まとめたもの
- ・分析により、施設分類ごとの現状と課題を明らかにするもの

活用

- ・3期実施方針に基づき地域ごと、機能ごとの資産保有の最適化推進
- ・本市公共施設の状況を市民に広く知っていただくこと

川崎市公共施設白書（概要版）は、川崎市公共施設白書（本編）及び川崎市公共施設白書（分析編）に掲載しているグラフを中心に、白書のポイントをまとめたものです。

施設総量

令和3年度と令和4年度を比較すると、施設総量は約0.16%の減少となっています。

- ・学校施設については、旧川崎看護専門学校の学校施設から福祉施設への分類変更等により減少となっています。
- ・市営住宅の管理戸数については「第4次川崎市市営住宅等ストック総合活用計画」に基づき、当面は引き続き維持することとしています。延床面積については、市営住宅の建替に伴う解体工事の進捗状況等により減少となっています。
- ・庁舎等建築物については、施設総量は減少となっています。

図 学校施設、市営住宅、庁舎等建築物の延床面積の過年度比較
(令和5(2023)年3月末時点)

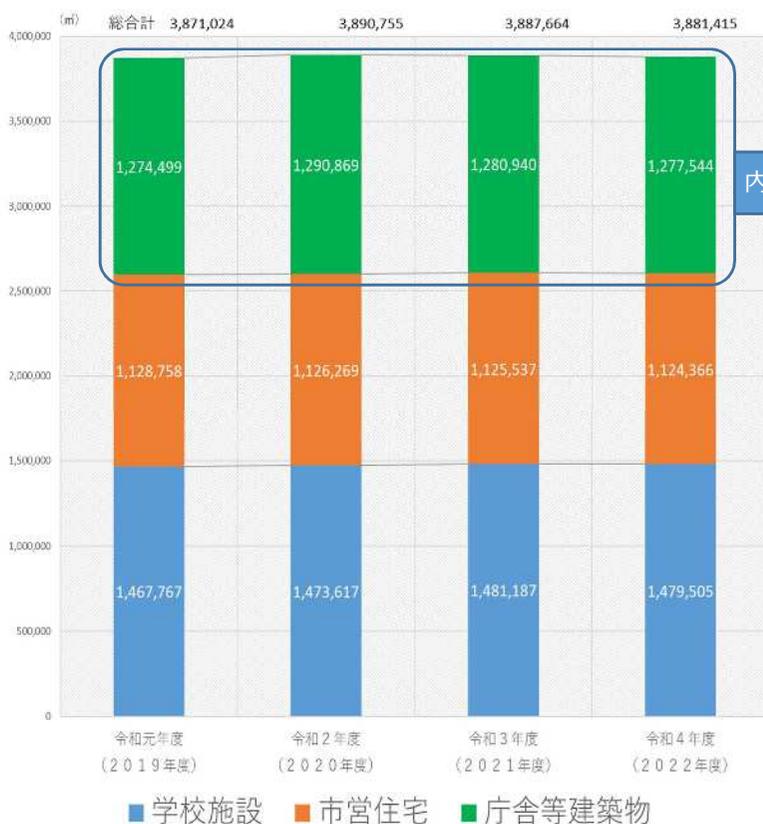


図 庁舎等建築物の大分類別延床面積の過年度比較
(令和5(2023)年3月末時点)



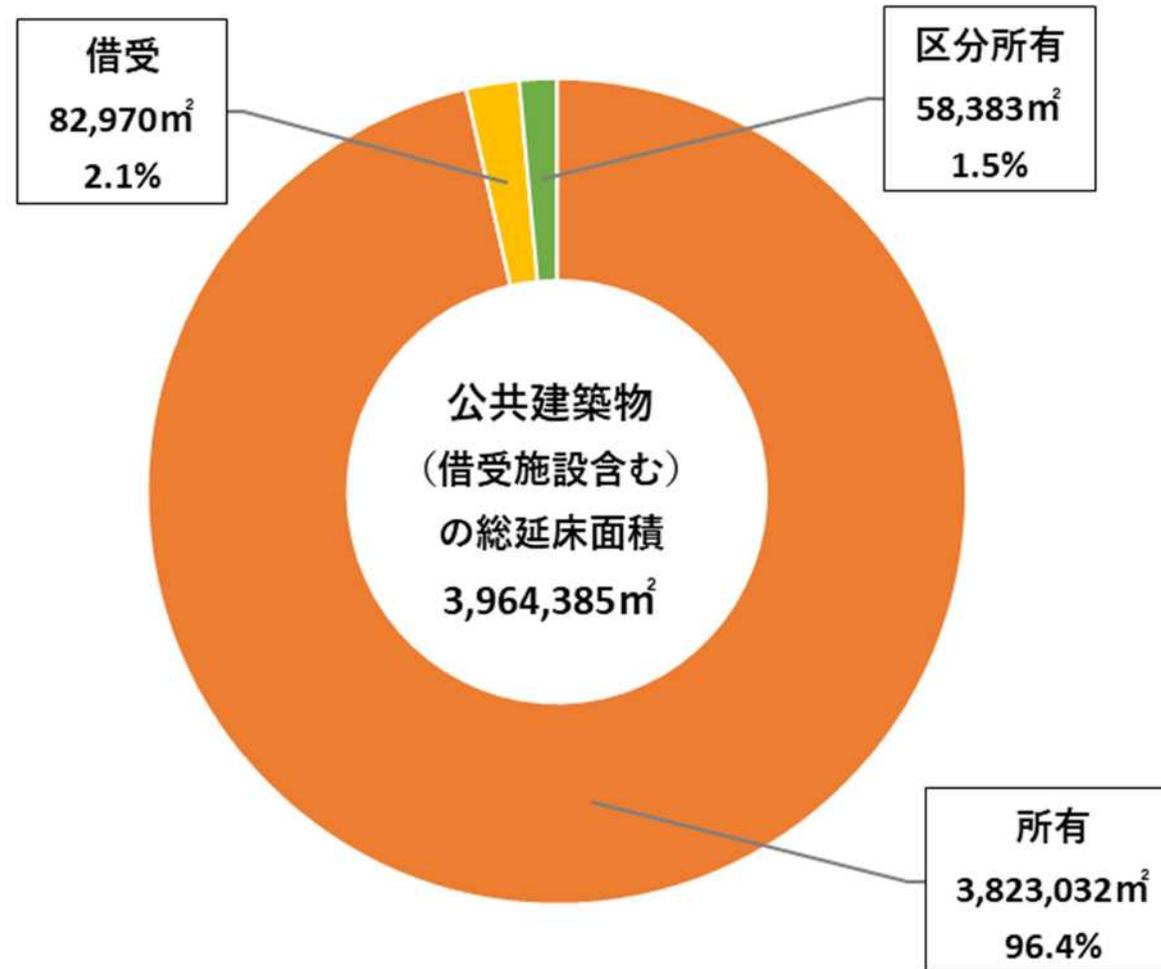
(注1) 借受施設を除く

(注2) その他施設には消防施設 51,147 m²、上下水道施設 15,408 m²、交通施設 12,995 m²、防災施設 4,304 m²、駅周辺施設 3,842 m²が含まれています(面積は令和3年度の数値。端数処理を行っています。)

所有形態

公共建築物の所有形態別の割合は市が直接所有するものが96.4%となっています。

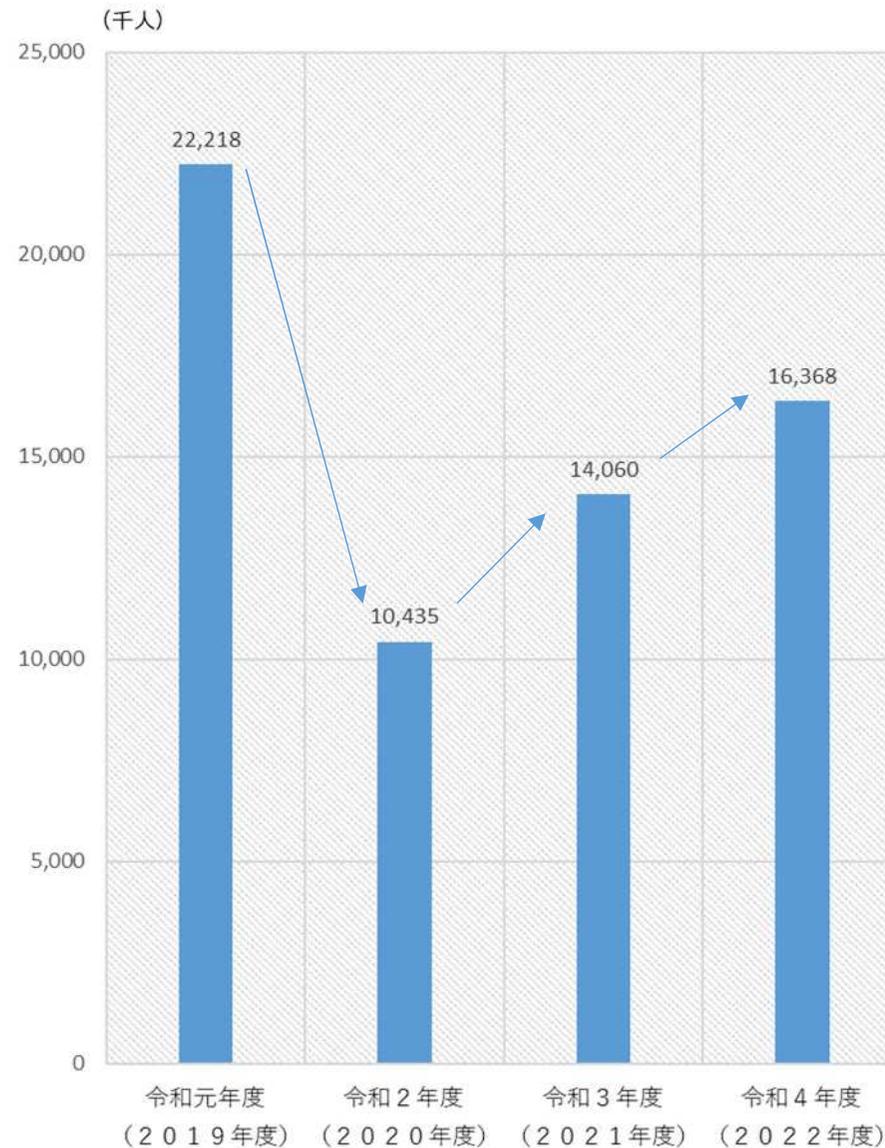
図 公共建築物の所有形態別の割合 (令和5(2023)年3月末時点)



施設の利用状況

新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた施設全体の年間利用者数は、令和3年度に引き続き令和4年度も回復傾向が見られます。

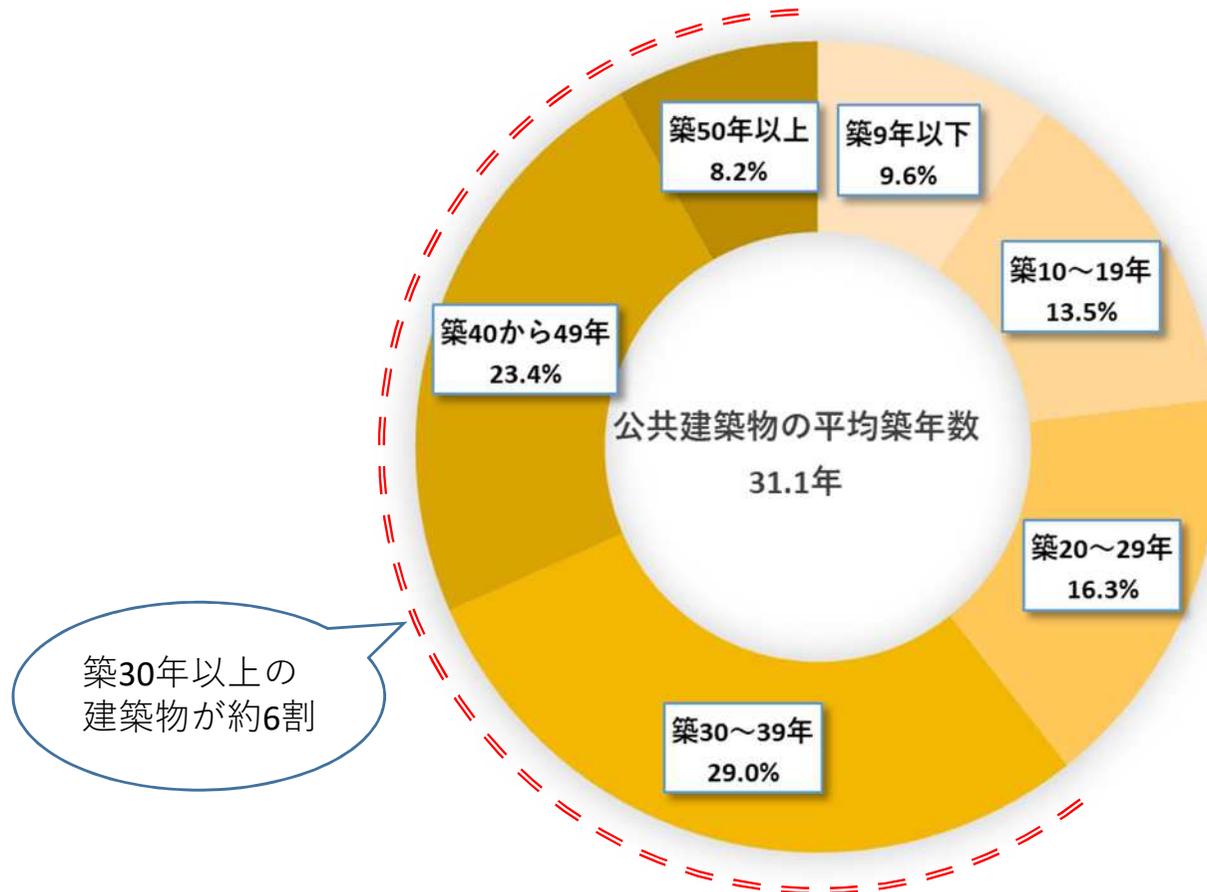
図 公共建築物（市民利用施設）の年間利用者数過年度比較



施設の築年数

令和5（2023）年3月末時点における、公共建築物の築年数は、築30～39年が約29.0%、築40～49年が約23.4%、築50年以上が約8.2%となっており、築30年以上の建築物が約6割を占める状況となっています。また、築年数の平均を施設の大分類別に見ると、学校施設、市営住宅施設、商業・産業施設、庁舎施設、環境衛生施設が築30年を越えています。

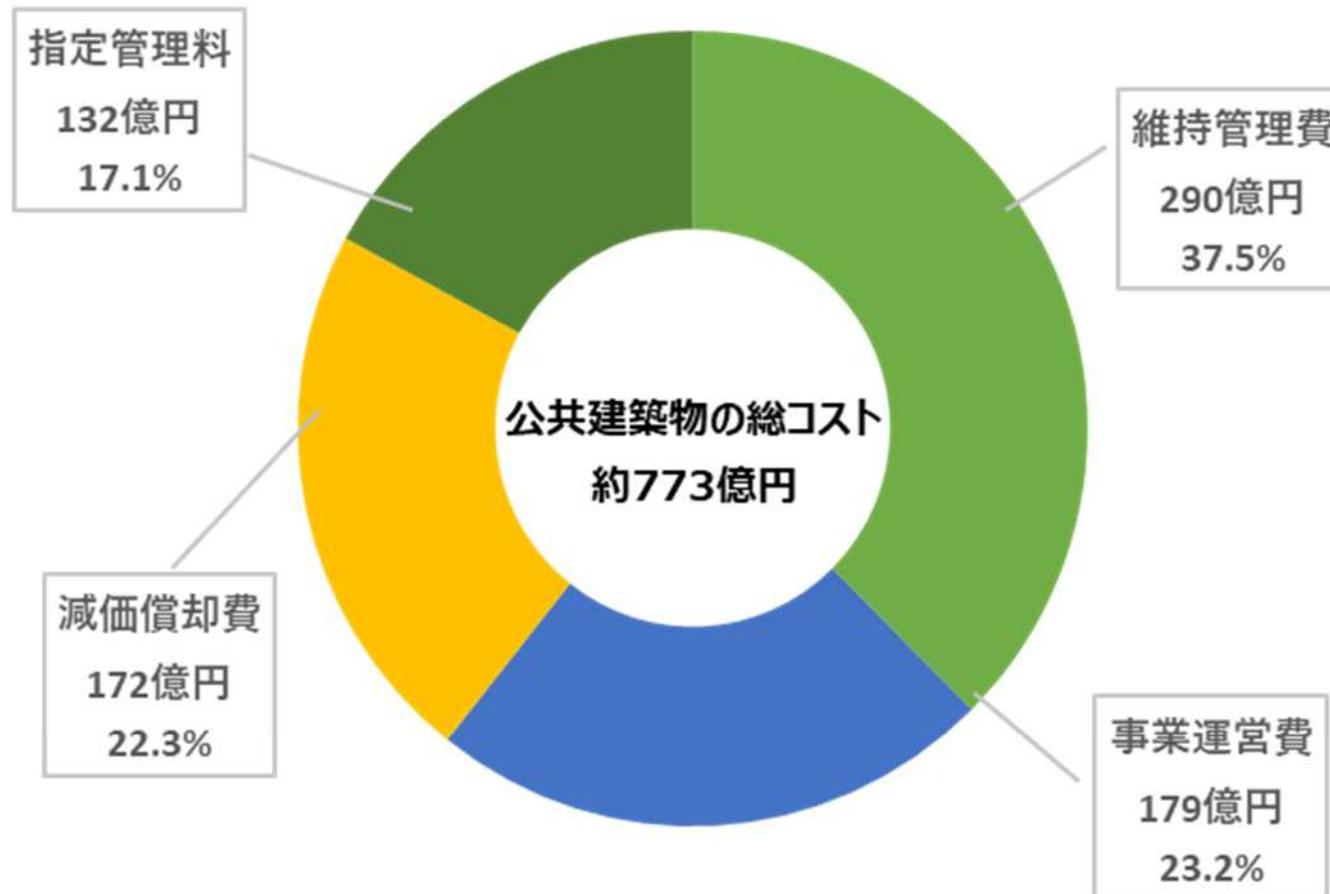
図 公共建築物（本市保有）の築年数
（令和5（2023）年3月末時点）



公共建築物の総コスト内訳

令和4年度の公共建築物にかかる総コスト（維持管理費・事業運営費・減価償却費・指定管理料）は約773億円となっています（解体・新築関連経費、大規模改修費を除く）。内訳別では、維持管理費が約290億円(37.5%)、事業運営費が約179億円(23.2%)、減価償却費が約172億円(22.3%)、指定管理料が約132億円(17.1%)となっています。

図 本市公共建築物にかかる総コスト内訳
(令和4(2022)年度決算、企業会計除く)



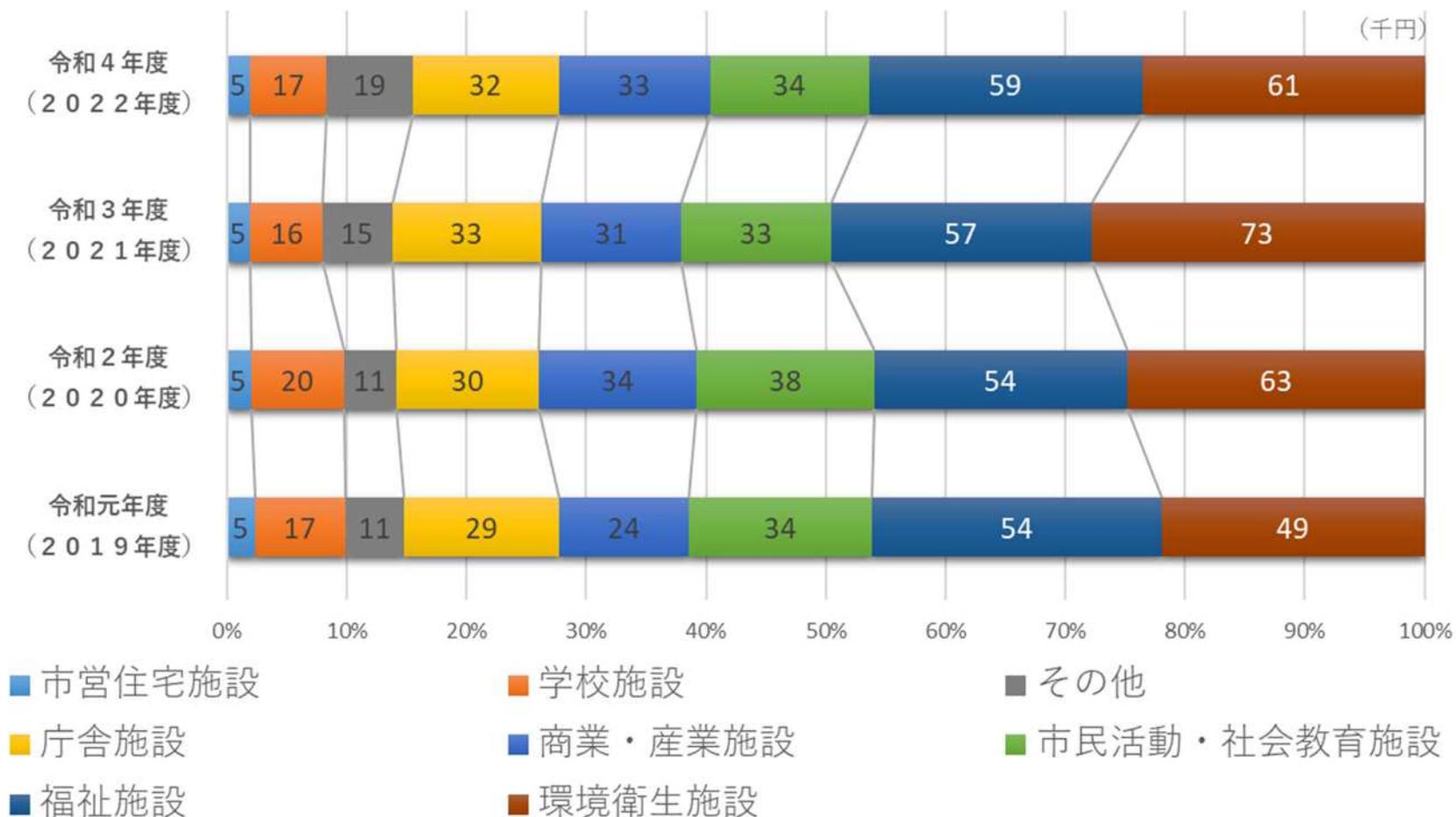
(注1) 公共建築物にかかるコストを算出し作成（借受施設の賃借料も含む）

(注2) 解体・新築関連経費、大規模改修費を除く

施設分類別コスト状況

過去4年間の状況を大分類ごとに見ると、「福祉施設」、「環境衛生施設」がそれぞれ約2割を占めており、4か年とも同様の傾向にあります。

図 本市公共建築物にかかる1㎡あたりのコスト分類別過年度比較（各年度決算、企業会計除く）



(注1) 借受施設の賃借料も含む

(注2) 解体・新築関連経費、大規模改修費を除く

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

川崎市公共施設白書

(概要版)

【令和4（2022）年度】

令和6（2024）年9月

(問い合わせ)

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

TEL 044-200-1226

FAX 044-200-3627

E-mail 17koukyo@city.kawasaki.jp